

青函地域経済活性化フォーラム(第2回)

# 北海道新幹線開業による 青函地域経済への波及効果等と課題

平成28年5月27日



# 県内企業景況調査 北海道新幹線開業関連

今回は北海道新幹線開業を、県内企業はどのように捉え、行動に移しているのか調査した。  
なお、平成22年12月4日の東北新幹線全線開業前（新青森駅開業時）の第113回（平成22年7～9月期）にも同様の調査を行っており、その時の結果と比較しながら見ていきたい。

## 1. 調査目的

本調査は、県内景気動向把握の参考とするため、県内企業を対象として3ヶ月ごとに「景況マインドの動向」を調査しているものです。

## 2. 調査時期

平成28年3月下旬～平成28年4月下旬

## 3. 調査対象

県内企業 301社

## 4. 調査方法

郵送によるアンケート方式

## 5. 調査内容

●特別調査 北海道新幹線開業関連

## 6. 回答状況

●回答企業 241社（回答率80.0%）

●産業別の内訳

製造業 44社 建設業 47社 卸売業 41社 小売業 47社

運輸・サービス業 62社

●地区別の内訳

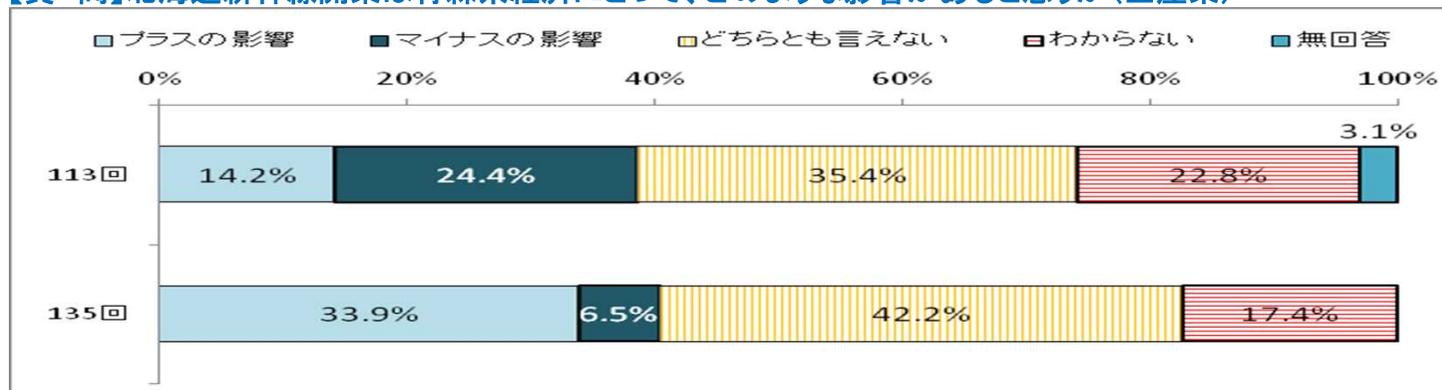
青森地区 76社 津軽地区 85社 県南地区 80社

# 県内企業景況調査 北海道新幹線開業関連

## 1. 3割強が北海道新幹線開業は「青森県経済にとってプラスの影響がある」と回答

- 「北海道新幹線開業は青森県経済にとってどのような影響があると思うか」との質問に対し、第113回調査時点では、「**プラスの影響がある**」と回答した割合は14.2%であったが、今回調査の結果は**33.9%**と19.7ポイント増加した。
- また、「**マイナスの影響がある**」と回答した割合は、第113回調査時点の24.4%から**6.5%**と18.9ポイント減少し、開業が近づくとともに、**期待が高まった**ことが見てとれた。
- ただし、「**どちらとも言えない**」との回答も**42.2%**と最も多いところを見ると、県内経済への波及効果については**具体的に捉えられていない**状況が窺える。

【質 問】北海道新幹線開業は青森県経済にとって、どのような影響があると思うか(全産業)



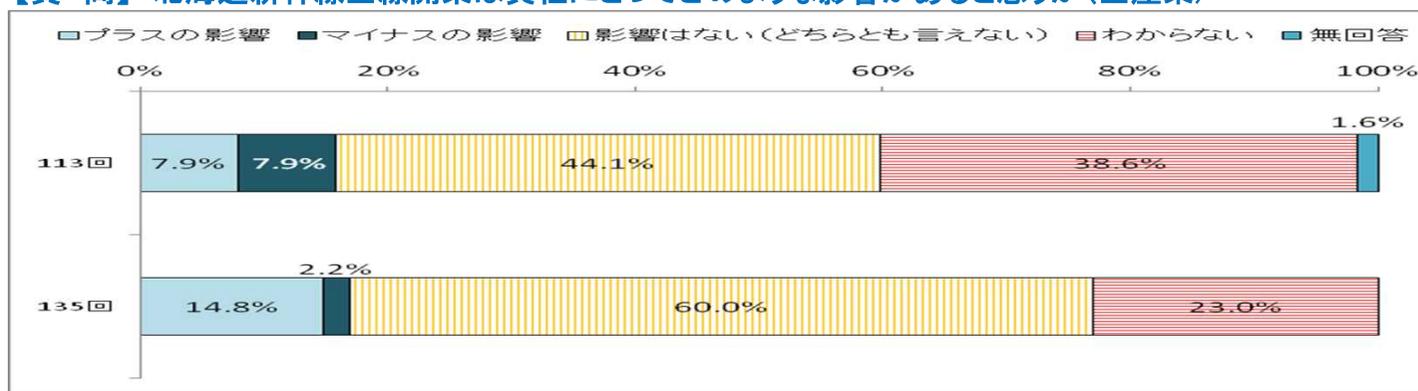
業種別回答割合	プラスの影響	マイナスの影響	どちらとも言えない	わからない
製造業	34.9%	7.0%	51.2%	7.0%
建設業	36.2%	8.5%	27.7%	27.7%
卸売業	36.6%	0.0%	46.3%	17.1%
小売業	31.1%	8.9%	40.0%	20.0%
運輸・サービス業	31.5%	7.4%	46.3%	14.8%
全産業合計	33.9%	6.5%	42.2%	17.4%

# 県内企業景況調査 北海道新幹線開業関連

## 2. 北海道新幹線開業の影響を悲観的に捉えている企業は、ほぼ皆無

- ・「北海道新幹線開業は、貴社にとってどのような影響があると思うか」との質問に対し、「**プラスの影響がある**」と回答した割合は**14.8%**と第113回調査時点よりも6.9ポイント増加した。
- ・また「**マイナスの影響がある**」と回答した割合は**2.2%**と第113回調査時点よりも5.7ポイント減少しており、新幹線開業を悲観的に捉えている企業は皆無に等しい状況であった。
- ・しかし、「**影響はない（どちらとも言えない）**」との回答が**60.0%**であることを考えると、**新幹線効果を見極めたい**としている企業が多いということも言えるだろう。

【質問】北海道新幹線全線開業は貴社にとってどのような影響があると思うか(全産業)



《業種別回答割合》 プラスの影響 マイナスの影響 どちらとも言えない わからない

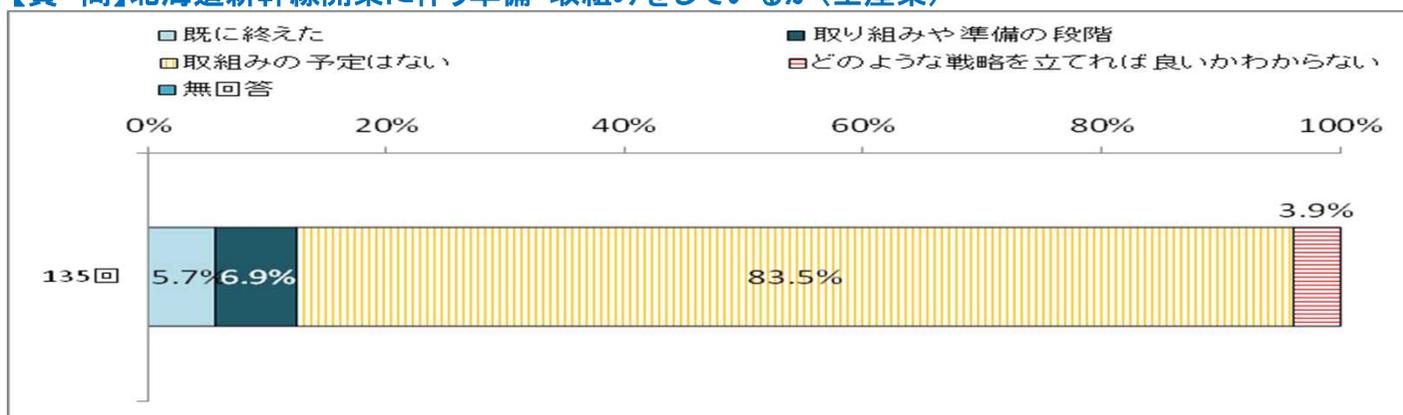
業種	プラスの影響	マイナスの影響	どちらとも言えない	わからない
製造業	25.6%	4.7%	51.2%	18.6%
建設業	4.3%	2.1%	57.4%	36.2%
卸売業	19.5%	0.0%	56.1%	24.4%
小売業	11.1%	2.2%	64.4%	22.2%
運輸・サービス業	14.8%	1.9%	68.5%	14.8%
全産業	14.8%	2.2%	60.0%	23.0%

# 県内企業景況調査 北海道新幹線開業関連

## 3. 8社に1社が北海道新幹線開業に伴う取組みや準備をしている

- ・「北海道新幹線開業に伴う準備・取組みをしているか」との質問に対しては、「既に終わった」が5.7%、「取組みや準備の段階」と合わせると12.6%あり、新幹線開業の影響について「影響はない(どちらとも言えない)」とする企業が多くある中においても、8社に1社が何らかの取組みや準備をしているとのことであった。
- ・また、83.5%が「取組みの予定はない」としているが、県内経済や各企業にとって新幹線効果が不透明な中、状況を見極めたいとする声も挙げられていた。
- ・中には、「どのような戦略を立てれば良いかわからない」とする企業も3.9%存在し、これらの企業に対するサポートが必要であると捉えられる。

【質問】北海道新幹線開業に伴う準備・取組みをしているか(全産業)



業種別回答割合	①	②	③	④
製造業	7.0%	11.6%	79.1%	2.3%
建設業	0.0%	4.2%	91.5%	4.3%
卸売業	4.9%	4.8%	85.4%	4.9%
小売業	6.7%	6.6%	82.2%	4.4%
運輸・サービス業	9.3%	7.4%	79.6%	3.7%
全産業合計	5.7%	6.9%	83.5%	3.9%

【回答項目】

①既に終わった ②取組みや準備の段階 ③取組みの予定はない④どのような戦略を立てれば良いかわからない

## 4. 実際に取組みを行っている企業は具体的にどのような取組みや準備をしているか。

### (1) 製造業、卸売業

- ・ 青函のコラボ商品開発
- ・ 県産品を使った商品の企画開発
- ・ 北海道新幹線開業記念商品の開発
- ・ 新函館北斗駅内に広告看板設置
- ・ 函館の飲食店等への販路開拓
- ・ 函館の商談会や展示会への参加
- ・ 新幹線の延伸工事に伴う増産への対応として、大規模な設備投資を予定

### (2) 建設業

- ・ 北海道新幹線の工事への人員派遣

### (3) 卸売業(製造業と重複しないものを記載)

- ・ 新青森駅への出店

### (4) 小売業

- ・ 店舗内で北海道フェア開催
- ・ インバウンド含む交流人口増加を見据えた取組み(自治体のWi-Fi事業へ申込み、商店街での免税店一括カウンター設置事業への参加)

### (5) 運輸・サービス業

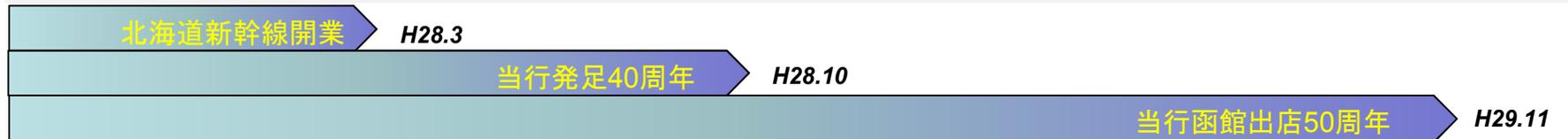
- ・ インバウンド含む交流人口増加を見据えた取組み(旅館・ホテルにおけるWi-Fi完備、ネット広告展開)
- ・ JRや旅行会社等と連携した旅行企画の提案
- ・ 函館に営業所を開設
- ・ 青森空港～新青森駅間の往復シャトルバス直行便の運航開始
- ・ 人材育成(観光ガイドタクシー認定乗務員育成)
- ・ レンタカー事業への取組み

# 地方創生へ向けた取組み

## 津軽海峡経済圏活性化に向けた当行の役割

※当行では、青森県と北海道道南を「津軽海峡経済圏」と捉え、取組みを強化しております。

北海道新幹線開業元年となる平成28年にみちのく銀行は発足40周年、また平成29年には函館出店50周年を迎えます。



### ● 北海道新幹線開業！

**平成28年3月26日、北海道新幹線「新青森⇄新函館北斗」間が開業しました！**  
北海道新幹線開業により、津軽海峡経済圏内の距離が大幅に縮まり、相互交流が活発になることが期待されます。

**函館地区の店舗ネットワーク**  
充実した店舗網を活かし、津軽海峡経済圏活性化に取り組んでまいります。

### ● 中国との国際定期便（青森⇄杭州・天津、函館⇄杭州）就航予定！

中国との国際定期便が就航することにより、津軽海峡経済圏内の周遊が可能となり、外国人観光客が増加することが期待されます。

**人財戦力の積極投入**  
函館地区7ヶ店に本部推進部門を含め130人以上の体制としております。今後も重点的に人財を投入し、津軽海峡経済圏の活性化に努めてまいります。

### ● 津軽海峡経済圏の活性化!!

移動時間の短縮により、医療資源の補完・進学に係る選択肢の増加・通勤圏の拡大につながることで、ヒト・モノの交流が進み、人口約180万人の津軽海峡経済圏が活性化することが期待されます。

**利便性向上に向けた取組み**  
お客さまの利便性向上に向けた店舗の建替・駐車場拡張等を積極的に進めており、平成28年7月にはききょう支店が移転予定となっております。

店舗数	7
店舗外ATM数	16



新築移転予定のききょう支店(イメージ図)

## 津軽海峡経済圏活性化に向けた当行の役割

北海道銀行、JTB北海道、JTB東北との連携により  
青森県と南北海道の酒造所を巡るスタンプラリー企画「**青函パ酒ポート2016**」を実施！

### <「青函パ酒ポート」とは…>

「地域の酒」×「地域の食」×「ツーリズム」を  
コラボレートさせた新しいエンターテイメント。  
地元の酒の消費拡大および「酒」を軸に人の  
交流を生み出し、地域の活性化につなげるこ  
とが最大の目的。  
北海道で実施されている「パ酒ポート」の運用  
スキームをベースに、**初の2地域連携版**  
として誕生しました。



<青函パ酒ポート>

### <3大特典>

- ・青森県内と南北海道のスタンプラリー参加の27酒造所で「パ酒ポート」を提示すると各種特典が受けられます。さらに、対象27カ所を期間内(2017.3.31まで)に廻り、6個以上(県内・南北海道の酒造所それぞれ3カ所以上)のスタンプを集めて応募すると、ステキなプレゼントが当たる2つのコースを用意。
- ・ワンコイン500円で、青森県内14+南北海道4カ所の温泉施設日帰り入浴が利用可能。
- ・ガソリンスタンド宇佐美(青森県内7+北海道内21店舗)で、ガソリン2円/ℓ割引。

### 「青函パ酒ポート2016」発売記念イベント

「パ酒ポート」オフィシャルサポーターである「酒場放浪記でお馴染みの吉田類氏」  
をゲストに迎えた発売記念イベントを開催しました！

#### <トークショーの様子>



#### <たくさんの方で賑わう会場>



## 津軽海峡経済圏活性化に向けた当行の役割

### <青函関連の取組み>

#### ①北海道銀行との連携による

- ・北海道・東北・北陸  
6次産業化商談会in東京
- ・旅行雑誌じゃらんへの  
地域情報発信企画

#### ②JR東日本との共催による

- ・津軽海峡食景色 青函産直市  
in千葉駅
- ・上野駅地産品ショップ「のもの」への  
行員研修派遣

#### ③県との連携による

- ・台湾への観光プロモーション  
ミッション団参画
- ・青函デスティネーション  
キャンペーン告知PR

### <課題>

「北海道新幹線開業を活かした交流人口の拡大と地域活性化」



### <当行の役割>

- ①外国人観光客を含めた青函周遊観光への誘客支援
- ②浅虫温泉、十和田湖等の活性化 支援
- ③観光関連取引先への情報提供、観光コンテンツの提案、プロモーション支援
- ④自治体や商工会議所等との更なる連携